

1月31日～2月1日に実施した、糸魚川市上南地区での活動の様子を紹介します。

今回の活動は、北陸自動車道「能生 IC」から約15分、柵口集落で行います。



<1日目 13:00～>

全員が揃ったところで、まずはオリエンテーション。

今回の活動には、継続的に参加しているリピーターの方々に加え、今回が初めての参加という20代の男性にもお申込みいただき、全国各地から15名の方々にご参加いただきました。

上南地区地域づくり協議会の会長様、そして柵口区長様から、今冬の積雪の状況や地区の実状についてご説明いただきました。

今年度は昨年よりも降雪量が多く、1月頭から雪が絶えず降り積もり、活動日時点では2メートルほどの積雪。

さらに集落内には一人暮らしの高齢者も多いため、スコープの活動を心待ちにされていたようです。

さて、早速1日目の活動に移ります。

1日目は、上南地区の名物イベント「上南ふれ愛キャンドル祭り」の設営ボランティアとして活動するため、会場の南能生小学校へ移動します。



キャンドル祭りは、「除雪だけでは苦しいので雪を楽しもう」「皆で元気を出そう」ということで始まり、今回で12回目となります。



運営の方から、作業の流れをご説明いただきます。

今回は巨大ろうソクの設置・雪灯籠作り・キャンドルアートのろうソク設置等をお手伝いしました。

雪灯籠作りは「バケツに雪を詰めて、穴を掘る」という単純作業なのですが、実際に作ってみると意外と難しいのです…

皆さん作業に苦戦しながらも、個性あふれる雪灯籠が完成しました！



ロウソクの設置も、皆さん黙々と作業を進めていました。



作業の合間に集合写真。いい笑顔ですね～！



17:00 頃、地区の住民の方々などと一緒に、いよいよキャンドルを点灯！
開会式では、スコップの紹介もしていただきました。
約 2,500 本のろうそくを使用して描かれた今年度のデザインは…

南能生小学校公式キャラクター「雪太郎」や雪の結晶でした！



(上南地区地域づくり協議会より提供)

会場では甘酒やうどんが振舞われました。
校舎屋上からアートを見下ろしたり、食事を楽しんだり、各々の形で祭りを楽しんでいました。

雪交じりの風が吹くこともありましたが、無事に1日目の活動を終えることができました。

< 2日目 8:30~ >

2日目は、家屋1軒と集落内の寺院「西運寺」の周りの除雪作業を行います。

まずは「かんじき」のはき方を教えていただきます。
普段の生活の中では馴染みのない「かんじき」。



紐の結び方に苦戦しながらも、皆さんで助け合いながら、何とか「かんじき」を履くことができました。

この日は雪が降る中での作業となりますが、皆さんのやる気が伝わってきます。



効率よく作業を行うポイントのひとつは、「リレー方式で雪を運ぶこと」。



今回の活動で初めて知り合った方々がほとんどですが、そんなことも感じさせない素晴らしいチームワークで、あっという間に作業を終えることができました。

最後に会長様、区長様から「ボランティアの皆さんが来てくれるのは本当にありがたい」というお言葉をいただきました。

参加者の皆さん、そして地区の皆さん、本当にありがとうございました！